

2310/9 マネージャーレポート練習試合 vs 都立松が谷高校、工学院大学付属高校

都立松が谷高校はスリーポイントを多く狙ってきたチームでした。また、リバウンドが強くセカンドチャンスを与えてしまうことが多々ありました。ベンチからの声掛けが多かったです。そしてその声掛けが選手の勢いづけにも繋がっていました。

工学院大学付属高校はとてもチームワークのとれたチームでした。オフェンスではパスの展開が早く、ディフェンスが離れている選手に素早くパスを出して得点を狙ってきていました。ディフェンスでも相手が中にドライブしてきた際に素早く2線3線が動いてカバーに入っていました。本校も見習っていきたいです。

本校は速攻を多くすることができました。最近取り入れたトランジションの練習では、縦パスを正確に素早く出せるように練習していたのでその成果が出たのだと思います。ですが、まだパスが長すぎて前を走る選手と上手く合わないこともありました。今後もトランジションの練習をして全員が良いパスを出してボールを貰えるように練習していきたいです。

ディフェンス面では最近取り入れたゾーンも実践しました。声を多く出して2線3線の寄りを早くできたので良かったです。ですが、選手によってディフェンスの寄りが違うことなどがありました。より沢山の練習を重ねて動きがよくなるようにしていきたいです。

また、工学院大学付属高校の先生からベンチの盛り上がりや声掛けが良いと褒めていただきました。応援は東大和男子バスケットボール部の魅力のひとつでもあるので継続していきたいです。

